

そよ風

特集

腎臓の働きと慢性腎臓病について

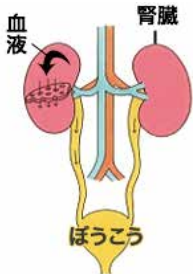




腎臓内科部長 本田 由美

腎臓の働きと慢性腎臓病について

腎臓の働きとは



腎臓は腰の辺りに2個あり、そらまめのような形をした、握りこぶしくらいの大きさです。腎臓は1個が150gほどの小さな臓器ですが、心臓から送り出される血液の20%以上が流れており、毎日200ℓもの血液をろ過して、老廃物を尿として体外に排泄し、体の中をきれいに保ちます。

その他にも、体液の量や浸透圧・血圧の調整を行ったり、ナトリウム・カリウム・カルシウムなどのミネラルや酸性・アルカリ性のバランスを保ったり、さらには血液を作るホルモンを分泌する、骨を健康に保つ、といった多くの働きがあります。

CKD(慢性腎臓病)とは

腎臓の機能を表す指標として、血清クレアチニン値をもとに糸球体濾過量を推定した推算 GFR(eGFR)が用いられます。GFRは糸球体が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作れるかを示す値です。

CKD(慢性腎臓病)とは、腎臓の働き(GFR)が健康な人の60%未満に低下する(GFRが60ml/分/1.73㎡未満)か、あるいは蛋白尿が出るといった腎臓の異常が3カ月以上続く状態を言います。

年をとると腎機能は低下していきますから、高齢者になるほどCKDが多くなります。高血圧、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高い(脂質代謝異常)、肥満やメタボリックシンドローム、腎臓病、家族に腎臓病の人がいる場合は要注意です。さらにCKDは、心筋梗塞や脳卒中といった心血管疾患の重大な危険因子になっています。

つまり、腎臓を守ることは、心臓や脳を守ることにもつながります。

CKDステージ	推算GFR値 (ml/分/1.73㎡)	腎臓の はたらきの程度	症状	治療法
CKD ステージ1 CKD ステージ2	ステージ1 90以上 ステージ2 89~60		自覚症状がほとんどない たんばく尿が出る 血尿が出る	生活習慣病・食事療法・薬物療法
CKD ステージ3	59~30		夜間に何度もトイレに行く 血圧が上昇する 貧血になる	生活習慣病・食事療法・薬物療法
CKD ステージ4	29~15		疲れやすくなる むくみが出る	生活習慣病・食事療法・薬物療法
CKD ステージ5	15未満		食欲が低下する だるさを感じる 尿量が少ない	生活習慣病・食事療法・薬物療法



出典：NPO 法人 日本腎臓病協会 ホームページより

定期的な採血や尿検査を行うことが現状の把握、および早期発見につながります。異常が見つかった場合には放置したままにせず、早めに適切な診断・治療を受けることで病気の進行を防ぎ、遅らせることが大切です。また、CKDの発症やその進行には高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が強く関係するほか、肥満、食塩の過剰摂取、過度の飲酒、喫煙などの生活習慣も深く関係しています。生活習慣の改善や早期からの適切な治療を受けることで、CKDの発症や末期腎不全、心血管疾患への進行を減らすことができます。まずは定期的な検査を受ける機会を作り、ご自身の健康状態を把握しましょう。そして日常生活も健康に気を配りながら過ごしましょう。

▶ 基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

▶ 患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- 1、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 2、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 3、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 4、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利(セカンドオピニオン)があります。
- 5、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 6、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 7、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。

表紙の あの人



診療支援課スタッフ

ニングや紹介患者のCD/DVD画像取込み、症例調査作成や症例レジストリーのサポート、手術動画の保存など、研究や学会発表資料等医師の負担を減らし患者様と向き合う時間を少しでも増やせるよう、幅広く事務作業補助を行っています。院内の様々な場所で業務を行うため、他職種のスタッフと連携を取りながら業務にあたっています。チーム医療を支える一員として、これからも日々頑張ります。

診療支援課は医師の負担軽減を図り、日々の診療業務を円滑に進めることを目的に業務を行っています。現在スタッフは14名で、そのうち医師事務作業補助者は13名です。医師事務作業補助者は配置後6か月の研修期間と、研修期間内に32時間以上の医療に関する講義を受けなくてはなりません。業務内容は医師からの指示の下、外来診察の補助や電子カルテへのオーダー代入力、診断書等作成補助、診療文書のスキャ



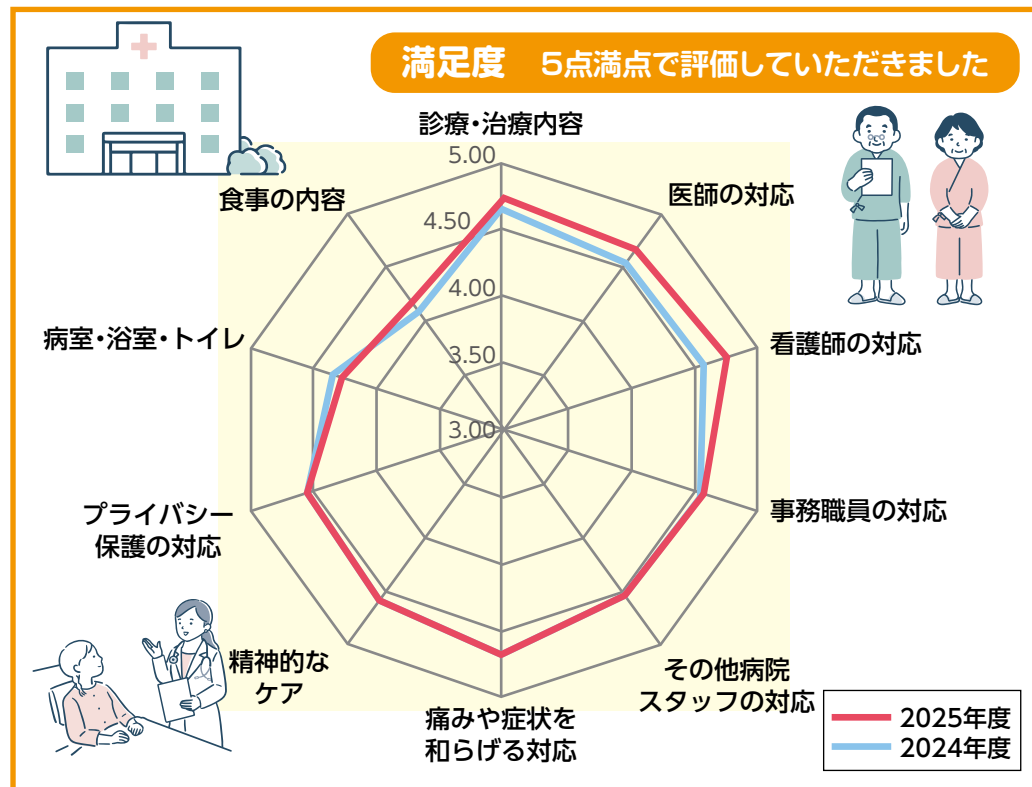
Announcement

▶入院患者満足度調査 ～結果のご報告～

当院では毎年1回、患者様の満足度調査を行っており、今年度も6月30日～7月13日に実施しました。

5点満点で満足度を評価していただきました。ご協力いただいた患者様、ありがとうございました。今号では入院患者様の調査結果を報告します。

◆調査件数:71名(期間中に退院された患者様 男性40名、女性29名、無回答2名)



各項目の平均点は4.2～4.7点と、昨年度に続き、みなさまから高い評価をいただきました。

いただいたご要望は、今後の病院運営の参考にさせていただきます。

また、職員へのねぎらいや感謝のお言葉も多数いただきました。ありがとうございました。

次号では、外来患者様の満足度調査の結果をご報告します。



令和7年度 出前講座

『便秘について』 10月30日(木) 14:00～15:30 《総領保健福祉センター》

対象：一般市民の方 / 講師：総合診療科 医師 にしみや りく 西宮 陸

『ドクターに聞いてみたい part 1 「COPD について」』

11月7日(金) 15:00～16:00 《口和保健福祉センター》

対象：一般市民、医療従事者、介護事業所職員の方 / 講師：内科 医師 すぎの けんた 杉野 健太

『糖尿病について』 11月28日(金) 14:00～15:30 《庄原市ふれあいセンター》

対象：一般市民の方 / 講師：看護部 第一外来教育係長 糖尿病療養指導士 まつい りか 松井 理香

各講座お問い合わせ

■総領支所 地域振興室 市民生活係 0824-88-3063

■口和支所 地域振興室 市民生活係 0824-87-2112

■庄原市 保健医療課 健康推進 0824-73-1255



薬剤師のはなし ジェネリック医薬品(後発医薬品)Q&A

Q>ジェネリック医薬品って何??

先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでおり、品質・効き目・安全性が同等なお薬です。厚生労働大臣の承認を受け、国の基準、法律に基づいて製造・販売しています。

先発医薬品の特許期間終了後に製造・販売をおこなうため開発期間が短く、コストを抑えることができます。そのため、新薬よりも低価額なことが多いです。

Q>ジェネリック医薬品を処方してもらうには

かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。

庄原赤十字病院では…

現在、採用薬のジェネリック医薬品への変更を進めています。ジェネリック医薬品への変更においては品質・安全性・安定供給などの条件を満たしたものを採用しております。変更があった場合には、お薬交付時に患者さまごとに個別に説明しています。



Q>メリットとデメリット

▶メリット

- ・薬代の負担が軽減される
- ・医薬品によっては、先発医薬品よりも剤形が改善されている
(例)錠剤の厚さが薄く飲みやすくなる

▶デメリット

- ・突然製造中止になることがある
- ・医療機関によっては希望のジェネリック医薬品が入手困難な場合がある
- ・薬の名前や見た目が変わる

来院される方へお願い 令和7年9月 現在

▶入館時のお願い



入館時は、マスクを着用していただき、手指消毒と検温をお願い致します。

なお、来院前に、熱・風邪症状などがある場合は窓口でお申し出頂くか、事前にお電話でお問い合わせください。

お問い合わせ ☎0824-72-3111

▶病棟での面会

各種感染症の感染防止のため、現在、全病棟で「面会制限」とさせていただきます。

面会制限

一部制限があります
ご確認ください

- ◆家族1回2名まで
- ◆13時～17時(15分以内)
- ◆受付 ・平日(①②窓口)
・土日祝日(ポプラ前防災センター)

※一部、面会ができないお部屋があります。

面会でご来院の方は、窓口にて確認をお願い致します。

